



マイナス10度の中で

今週は寒い日が続きました。21日（月曜日）から22日（火曜日）にかけて、雪が降り続き、学校のまわりがすっかり雪景色になりました。そして、祝日明けの24日（木曜日）の朝、福田小の気温は何とマイナス10度でした。こんなに冷えたのは久しぶりでした。そんな中でも、子どもたちは、笑顔で登校してきます。「おはようございます」という元気な挨拶に、寒さも吹き飛ばす感じがします。雪の日も、冷え込んだ日も、毎朝みんなで歩いて登校する子どもたち。それだけで、えらいと思います。



福田小の登校班で歩いて来る日も、あと少しとなりました。福田小の仲間と歩いて登校できる今を思う存分味わってほしいと思います。いつの日か、「寒い朝、みんなで歩いて学校に行ったよね。」と懐かしく思い出す日が来るはずですから。

【寒くても、元気な歓声が響きます】

朝、マイナス10度まで冷えた2月24日（木曜日）。日中の気温もあまり上がらず、寒い1日でした。それでも、休み時間になると、子どもたちは校庭に飛び出してきます。寒くても、元気いっぱいです。

みんなで、雪を集めて転がし始めました。（雪だるまを作るのかな）と見てみると、雪の玉は予想以上に大きくなっていきます。どうやら、雪だるまではないようです。

できあがったのは、大きな雪の台です。子どもたちは、雪の台に乗り、そこからジャンプを始めました。気分はスキージャンプ選手のようです。雪でいろいろな遊びを考える子どもたち。実にいい表情をしています。何だか昭和の子どもたちを連想して、ほほえましくなりました。

子どもらしい元気な歓声を聞きながら、福田小の良さを改めて感じることができました。



【飼育委員会の仕事ぶり】



2月24日（木曜日）は、祝日明けでした。休みの日に強い寒波が到来したこともあり、うさぎの大福にあげた水が凍っています。そんな大福がかわいそうと、寒い中にもかかわらず、水を交換してあげる6年生。「昨日は休みの日で当番の仕事ができなかったから」と、ウサギ小屋の掃除やわらの交換を行う水曜日当番の4、5年生。うさぎの大福のために、主体的に活動する飼育委員会のみんなの姿がありました。大福は、みんなからもらった餌をほおばりながら、「ありがとう」と微笑んでいるようです。

そんな子どもたちの温かい気持ちが伝わったのか、週末からは寒さもゆるみ、暖かい日が続く予報です。春がまた一步近づきますね。

